



JTUC-aomori

No.421 2025年3月

# れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会  
青森県連合会(連合青森)  
発行人 中野 隼 編集人 堤 史子  
青森市本町3丁目3の11  
青森県労働福祉会館内  
TEL (017)735-0551  
FAX (017)735-0553  
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>  
月1回発行 1部10円  
(組合員の購読料は会費の中に含む)

## 連合青森2025春季生活闘争総決起集会



連合青森は3月1日(土)11時より、青森県労働福祉会館で、「2025春季生活闘争総決起集会」を開催。構成組織の組合員450名が結集し、「みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会」をメインスローガンに掲げ、「賃上げ」や「雇用形態間格差の是正」等の実現に向け、氣勢を上げた。

あいさつに立った塩谷進会長は今次闘争を「賃上げの流れを定着させ、裾野を広げることを意識した闘い」と強調した上で「労務費の価格転嫁と人への投資を積極的に行い、賃金も物価も上がらないというこれまでを払拭するという強い思いで取り組まなければいけない」と士気を高めた。

この後友好政党・団体から立憲民主党県連升田世喜男代表代行、国民民主党県連金濱亨代表、県民社協会大澤祥宏会長が各々の立場から激励のあいさつを述べた。

次に中野隼事務局長が情勢報告と、①賃上げ率6.0%以上、額15,000円以上、②雇用形態間格差の是正、③ジェンダー平等・多様性の推進などすべ

ての労働者の立場にたった働き方の見直し、④2月末までの要求書提出、等とする要求目標を説明した。

続いて、自治労県本部根城伸悦県職労中央執行委員長、運輸労連県連佐藤淳書記長、連合青森下北地協谷川豪樹議長の3名が決意表明を行い、「これから本格化する交渉、取り巻く環境は厳しいが少しでも条件の整った回答を引き出すよう、共に頑張ろう」と声をあげた。

集会最後、「すべての働く仲間へ持続的な賃上げの流れを波及させる」とするアピールを採択し、塩谷会長の団結ガンバローで集会を締めくくった。

また集会終了後、市内中心街で参加者によるデモ行進を行い、「賃上げがあたりまえの社会をみんなで作ろう」と声をあげ、機運醸成をはかった。



根城県職委員長  
(自治労)



佐藤書記長  
(運輸労連)



谷川議長  
(下北地協)



### プラカード コンテスト結果

- 第1位: 電力総連
- 第2位: 自治労
- 第3位: J P 労組



第1位 『電力総連』

## 『地場の賃金底上げを！』交渉力強化はかる 2025地場労組交流の集い

連合青森地場労組対策委員会（関保委員長）は2月25日（火）、青森県労働福祉会館にて「今年もガンバル！2025地場労組交流の集い」を開催し、地場労組対策委員や地場組合員ら27名が参加し、交渉力強化にむけ学習会を開催した。

地場労組対策委員会中野隼副委員長は「『賃金も物価も上がらない』という社会的マインドを変え、賃金も物価も安定的に上昇する新たな経済ステージを定着させる正念場。その最大のカギとなる持続的な賃上げの実現に向けて、連合青森に集う地場中小組合全体とともに頑張ろう」と激励した。

続いて、連合総合政策推進局労働条件・中小地域対策局酒井伸広次長より『2025春季生活闘争・中小地場労組を取り巻く課題』と題し、講演いただいた。酒井次長は全国的な価格転嫁の進捗状況を示し、「とかくその中でも労務費の価格転嫁ができていない」と指摘。「地方版政労使会議を通じ、取り組み強化していくことが重要」と強調した。

酒井次長



交渉力強化に向け、地場組合員が参集

後半に入り、工藤公嗣副事務局長が2025春季生活闘争方針について県内の経済状況を交え説明。

続いて、弘前航空電子労働組合田中大副執行委員長が『交渉の現場から』と題し、自組織の手法について講演した。「交渉に向けては会社と賃金データを共有し、何度もシミュレーションを行い、本番に備えている。また交渉進捗状況などは組合アプリを導入し、組合から組合員へ情報開示。その一方で随時、闘争速報を紙ベースで配布するなど、2段階での周知方法を取っている」と述べた。参加者からは是非参考にしたいという声が多く上がった。



田中執行委員長  
機連合・弘前航空  
行委員長 田中

## 意識と行動の変容でジェンダー平等社会実現を！

### 連合青森女性委員会『3.8国際女性デー』街頭行動

連合青森女性委員会と青年委員会、東青地協女性役員が合同で3月1日（土）14時より、青森市のさくら野百貨店前で『3.8国際女性デー』をテーマとした街頭行動を行った。

女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」の花を手渡し、リレートークで行われた街頭行動では「労働力人口の減少に伴い、女性の労働力が無くてはならない存在であるにもかかわらず、その理解や処遇は決して平等と言えない現状にある。ジェンダー平等の達成には様々な制度を整えるだけでなく、人々の意識と行動の変容が求められている。人権が尊重され男女が平等・対等に働き続けられる社会の実現に向け、私たちと一緒に、声をあげていこう」と道行く市民に呼びかけた。



バラの花を手渡し  
国際女性デーをアピール

世界経済フォーラム発表の国際的男女間格差を示すジェンダーギャップ指数2024で日本は146か国中118位（前年125位）と諸外国に比べ低水準に位置し、主要先進国（G7）では最下位となっている。分野別でみると「教育」は昨年よりかなり順位を落とし72位（同47位）、「経済」120位（同123位）、「政治」113位（同138位）となり、男女間格差が埋まっていない現状が改めて示されている。

# 安心して働ける雇用をすべての人に！～みんなの力で職場を改善しよう～

## 連合全国一斉集中労働相談ホットライン

升田世喜男衆議員も参加



連合は労働契約の更新時期を迎える年度末を前に「安心して働ける雇用をすべての人に！～みんなの力で職場を改善しよう～」と題し、

全国一斉集中労働相談ホットラインを開設。連合青森も同様に、2月13日（木）と14日（金）の2日間実施した。

また、この相談ホットラインの周知に向け、2月10日（月）、青森市のさくら野百貨店前にて街頭行動を行った。

相談件数は全国で789件（内LINE相談170件）

にのぼり、連合青森には正社員の女性から1件寄せられた。内容は「年次有給休暇」であった。



チラシを配布しPR

**R** 生活応援リンク  
**ろっさん** キャンペーンは3月から!!  
 2025年3月1日～6月30日  
**フレッシュ&学生応援**キャンペーン  
 2025年3月1日～12月31日  
**給与振込**キャンペーン

～2025年4月商品改定～  
**さらに安心！くるまの補償点検キャンペーン**  
 期間中に所属団体を通じて…  
**期間：2月1日～4月30日**

マイカー共済に新規加入  
または車両補償付帯された方へ  
**オリジナルドライブセット**  
 プレゼント!

マイカー共済のお見舞もりをいただいた方へ  
**非常用防寒ブランケット**  
 またはカークリーナー  
 プレゼント!

※画像はイメージです。※在庫状況によっては、他のノベルティをお渡しする場合がございます。

**こくみん共済** 青森推進本部 (青森県労働者共済生活協同組合)

連合・教育文化協会共催 第22回  
**「私の提言」募集**  
 優秀賞 副賞 **20万円**

働くことを軸とする安心社会  
-まもる・つなぐ・創り出す-の  
実現に向けて、連合・労働組合  
が今取り組むべきこと  
(オリジナルで発表のものに限る)

今年も、ILEC30周年記念  
組合特別賞あります!

応募締切 **2025年7月22日(火)**  
 応募資格 **どなたでも応募いただけます**  
 応募方法 Webサイトの応募フォームから応募

表彰  
 ・優秀賞 1篇 表彰額と副賞……………**20万円**  
 ・佳作賞 若干篇 賞状と副賞……………**10万円**  
 ・ILEC30周年記念・組合特別賞 賞状と副賞……………**5万円**  
 ・奨励賞 若干篇 賞状と副賞……………**3万円**  
 ・学生特別賞 1篇 賞状と副賞……………**12万円**  
 奨学金1万円×12ヶ月

※応募者には、もれなく記念品を連署(入賞者および審査対象外となった方を除く)。  
 ※ILEC30周年記念・組合特別賞は、応募者が所属する組織で実績のある取り組みで、他の組織でも応募可能なものが対象となります。  
 ※発表 2025年10月1日(水)予定

応募・お問い合わせ先  
 公益社団法人 教育文化協会  
 E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp  
 電話 03-5295-5421

詳しくは [「教育文化協会 私の提言」](#) (見開き)

### 2025年3月行動予定 3月10日現在

- 3月11日（火）13時30分 ホテル青森  
「2025春季生活闘争労使交渉懇談会」
- 3月12日（水）9時30分 県庁・青森労働局  
「雇用の維持と安定化要請」
- 3月12日（水）10時30分 青森労働局  
「2025労働局行政に関する要請」
- 3月21日（金）13時30分 県労働福祉会館  
「第13回四役会議」
- 3月25日（火）13時30分 県労働福祉会館  
「第1回組織拡大委員会」
- 3月28日（金）13時30分 県労働福祉会館  
「第12回執行委員会」

### 2025年4月行動予定

- 4月2日（水）13時30分 県労働福祉会館  
「第1回政策委員会」
- 4月8日（火）14時30分 県労働福祉会館  
「第14回事務局会議」
- 4月9日（水）10時00分 県労働福祉会館  
「第96回メーデー第2回実行委員会」

**!!! みんなでつくろう!**  
**賃上げ**があたりまえの社会

## 2025春季生活闘争に向け若年層組合員の意識高揚をはかる！

### 連合青森2025青年ファイティングフォーラム

連合青森青年委員会（米田裕哉委員長）は2月22日（土）13時30分から「2025青年ファイティングフォーラム」を開催し、各組織の若年層を中心とした109名の参加者とともに、2025春季生活闘争に向けて意識高揚をはかった。

開会にあたり、米田委員長より年末年始にかけて青森市を中心に県内各地に甚大な被害をもたらした豪雪についてお見舞いと、復旧作業に従事した組合員の方、厳しい環境下においても日常業務・日常生活を停滞させることがないようにご尽力いただいた組合員の方へ感謝の言葉が述べられた。今次闘争が始まるにあたり「労働者の権利確立」「賃金向上」「労働環境の改善」達成に向け、『青年ファイティングフォーラム』が若年層にとって、機運向上のきっかけとなるようなイベントとした」と、主催者としての思いが伝えられた。

今回のファイティングフォーラムでは、前半は連合青森上平裕貴副事務局長より「春季生活闘争の歴史」、連合青森中野隼事務局長より「連合青森における春季生活闘争のポイントと取り巻く環境」、そして連合青森武部千賀子副事務局長より「ジェンダー平等推進」について講演や提起が行われ、知識習得と情勢共有がはかられた。

後半のグループワークでは「春季生活闘争を盛り上げよう！！」と題し、各グループを一つの単組と設定し「ステップ1：盛り上がっているとはどのような状況なのか」「ステップ2：どのような施策に取り組みば達成することが出来るか」「ステップ3：日頃からどのような活動に取り組みば良いか」について議論。上平副事務局長より「盛り上がり『乗る』のではなく、『起点』となる必要がある」との目的が示され、各グループにて議論を深め、50件を超える貴重な意見が集



賃上げ・労働環境改善へ  
若年層組合員が参集



50件を超える意見が  
集まったグループワーク

まった。

閉会挨拶では青年委員会附田浩基副委員長より、自身の悲痛な体験を基に「職場環境改善」「コミュニケーション」の重要性と、青年委員会の活動はまさにそのような部分を育み、人と人との繋がりを作る活動を展開していることから、よりたくさんさんの組合員の参画についてお願いを含め、熱いメッセージで締めくくられた。

多種多様な価値観が認められるとともに、地域や性別、業種といった様々な方面において格差の広がりや顕著になっている等の課題も多くある。その困難に立ち向かうためには組織の力が必要であり、組織が力を保ち続けるためには、若年層の力が必要不可欠である。

今後も青年委員会では、若年層の成長の一助となるとともに、組織間の横断的な交流促進がはかれるよう、魅力的な企画を展開していく。

## ワークルール検定 2025・春(初級)

<後援>厚生労働省  
日本生産性本部  
全国社会保険労務士会連合会



2025年6月7日（土）～6月15日（日）

■会場：青森県内テストセンター

※日時・会場は受検者各自、申込の際に選択してください。

■募集人員：60名

■募集期間：2025年4月11日（金）まで ※連合青森組織内締切

～職場で役立つ法律知識を身につけられます！～

※申込み・詳細は連合青森（017-735-0551）またはウェブサイト(<http://workrule-kentei.jp>)へ

一般社団法人日本ワークルール検定協会

